

後藤 征夫 著

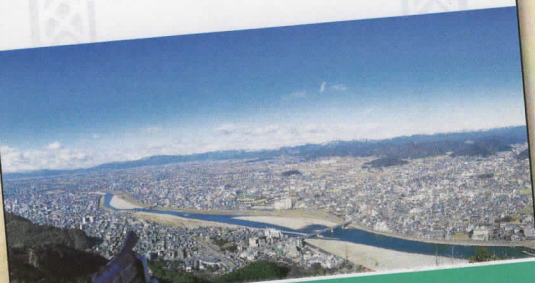
ふるさと・岐阜の歴史

150年の歩みを未来に

ふるさと・岐阜の歴史

150年の歩みを未来に

後藤 征夫



推薦します! 前岐阜市教育長 安藤 征治

歴史を知るとは、当時を生きた人びとの生き様に学び、未来を考
える営みである。現地に足を運び、自分の目で確かめ、人の話に耳
を傾け、多くの文献をひも解き、まとめられた貴重な記録である。
岐阜に生きる多くの人たちに、ぜひ手にとって読んで頂きたい。

岐阜ルネッサンスクラブ

推薦のことば

前岐阜市教育長 安藤 征治

この度、後藤征夫さんが「ふるさと・岐阜の歴史 -150年の歩みを未来に-」を出版されたことに対して、深甚なる敬意とお慶びを申し上げます。

この本が世に出て、多くの人たちの手に渡る日を心から待っていました。後藤さんが、長年人工透析を受けながら、その寸暇を惜しんで、調査し、執筆し、推敲を重ね、一冊の本として出版されるまでの過程に、どれだけのご苦労があったことか。

より豊かで、平和な生活をめざして努力してきた私たちの父母、祖父母たち。近現代のふるさと岐阜の歴史と、そこに生きた人々の苦労や努力を、是非とも未来に繋げたいという後藤さんの強い思いが、今こうして結実したのだと思うと胸が熱くなります。

この本を読むと、私たちの住んでいる岐阜のまちがより身近に、そして愛着をもって見えてきます。

第1章

岐阜の町の移り変わりとおびとの暮らし

- ① 中山道を通った和宮の大行列
- ② 長良川の舟運
- ③ 権現山の「時の鐘」
- ④ 岐阜の電車「むかし話」
【コラム】岐阜市の誕生は？
東海道線「岐阜駅」は…？
- ⑤ 柳ヶ瀬の誕生（明治・大正編）
- ⑥ 繁華街・柳ヶ瀬（昭和編）
- ⑦ 養蚕業と製糸工場で栄えた町
- ⑧ 長良川・忠節橋物語
- ⑨ 岐阜市に上下水道ができるまで
- ⑩ 忠節用水の今昔
- ⑪ 岐阜公園物語 1（明治・大正・昭和初期）
- ⑫ 岐阜公園物語 2（戦後編）

第2章

災害・水とのたたかい（長良川の水害と治水）

- ① 美濃・尾張を壊滅させた濃尾地震
- ② 明治期の長良川水害と木曾三川分流・砂防工事
- ③ 荒田川公害と新荒田川の開削
- ④ 長良古川・古々川の締め切りと岐阜特殊堤
【コラム】どの川筋が「長良古川」「古々川」だったのか
- ⑤ 3年連年災害とその後の復旧対策
- ⑥ 岐阜市を水浸しにした台風17号
- ⑦ 河渡輪中「水とのたたかいの歴史」

第3章

戦争と平和

- ① 「青い目の人形」と岐阜の子ども達
- ② 満蒙開拓青少年義勇軍
- ③ 各務原飛行場と川崎航空機
- ④ 戦時下の学校と子ども達
【コラム】再び「戦争の道」に進まないためには…
- ⑤ 「日中不再戦」「中日両国人民世代友好下去」の碑文交換と、杭州市との友好都市提携

年表

「岐阜地域のできごと・動き」

● 著者紹介 後藤 征夫（ごとう いくお）

1944年、岐阜県吉城郡神岡町（現飛騨市）生まれ。岐阜大学教育学部社会学科卒業後、1967年4月から岐阜県内の小中学校及び岐阜市教育委員会に勤務。2005年3月、岐阜市立合渡小学校校長で退職。

退職後は、岐阜市歴史博物館ボランティアに参加し、児童生徒の指導、展示資料等の説明、ガイドを行う。2008年、仲間と共に「お話・岐阜の歴史サークル」を立ち上げ、テーマごとに「お話」としてまとめ、HP「お話・岐阜の歴史」の発信を始める。2010年より季刊情報誌「VIVO」の「ふるさとの歴史こぼれ話」を連載中。

A5判 252ページ

著者	後藤 征夫
発行所	岐阜ルネッサンスクラブ 岐阜市三輪ふりんとびあ13番地の1 (株式会社 岐阜文芸社内) 電話 (058) 229-6088 FAX (058) 229-6131
定価	1,000円(+税)送料別